

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)高石市千代田2丁目マンション	階数	地上10F
建設地	大阪府高石市	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第二種住居地域	平均居住人員	288 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2019年3月8日
敷地面積	2,635 m ²	作成者	不二建設(株)西村譲司
建築面積	774 m ²	確認日	2019年3月8日
延床面積	6,099 m ²	確認者	不二建設(株)西村譲司



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超

標準計算

①参照値	184 (kg-CO ₂ /年・m ²)
②建築物の取組み	46 (kg-CO ₂ /年・m ²)
③上記+②以外の	92 (kg-CO ₂ /年・m ²)
④上記+	138 (kg-CO ₂ /年・m ²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.0**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

音環境	2.8
温熱環境	2.7
光・視環境	3.8
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	3.6
耐用性	3.0
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.5

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.5**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	3.4
非再生材料の	2.9
汚染物質	2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	4.5
地域環境	2.8
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 まちなみや風景に調和した建物デザインとしている。 また、豊かな植栽により良好な景観を形成し、かつ、暑熱環境にも配慮している。	その他 特になし	
Q1 室内環境 窓を大きく、室内の明るさに配慮し、かつ、庇・カーテン等により、快適に過ごせるように配慮した。	Q2 サービス性能 躯体材料の耐用年数、設備配管の耐用年数に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に植栽をできるだけ配し、室外環境に配慮した。
LR1 エネルギー 設備システムの高効率化に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水コマや省水型機器を用いている	LR3 敷地外環境 敷地外環境向上のため、一般的な基準を満たすように配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0159

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)高石市千代田2丁目マンション計画					
	建設地	大阪府高石市千代田2丁目1150番13の一部					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					5	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					3	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.5	5
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		